

<p>① 提案 (テーマ)</p> <p>自ら生きる力をつける・地域を守る ～屋上で育てる非常食 (サツマイモ) ～</p>	<p>② 学校・グループ名</p> <p>伊勢市立二見中学校生徒会</p> <p>③ 名前</p>
<p>④ 提案の理由</p> <p>二見中学校は、伊勢湾に面した海岸沿いの学校です。海岸からわずか 20m ほどの距離に学校がたてられていて、南海トラフ地震では、津波の被害が予想されています。この厳しい環境ですが、二見中学校は、伊勢市の避難場所に指定されています。災害時に生き抜くために非常食 (サツマイモ) を屋上で栽培して自分の命を守り、地域の安全も一緒に守りたいです。</p>	
<p>⑤ 取組内容</p> <p>二見中学校の避難場所は校舎本館 3 階多目的スペースになっています。この多目的スペースの一角に備蓄倉庫が設置されています。この倉庫の中には非常食や非常用トイレなどが用意されています。実際、津波などの災害が発生し、学校が避難所になったとき、みんなが生きるための食料が大量に必要になり、今、多目的スペースに蓄えられている非常食の量では全然足りないと思います。</p> <p>そこで、「東北交流ボランティア活動」に参加した私たちの先輩方の発案がきっかけとなって、2015年から校舎別館屋上の畑を活用して、ここで栽培した作物を非常食として備蓄する取組を始めました。</p> <p>私たちにとって農作業は経験がほとんどなく、実際に取り組むと農家の方の苦勞が分かります。栽培方法や保存食にするための調理方法については、JA伊勢の方に教えていただいて、勉強しています。</p> <p>収穫したサツマイモは、干しイモにして備蓄倉庫に保管し、非常食として活用されます。また、屋上に避難した場合は、屋上で栽培されるサツマイモがそのまま食料として使われます。</p>	
<p>⑥ 取組の成果 (期待される効果)</p> <p>災害を生き抜くための食料を自分たちで栽培することによって、より一層生きることの意味や命の大切さを学ぶことができます。屋上は見晴らしが良く、伊勢湾と二見の自然を間近に感じることができ、栽培の作業をしながら、私たちが地域を守るんだという意識をより強くすることができます。</p>	



サツマイモ栽培 (別館屋上スカイガーデンにて)